

令和3（2021）年度 前期の授業等について

1 前期前半【4月8日（木）～6月9日（水）】の授業について

（1）形態・方法

令和2年度後期に実施した「ハイブリッド授業」※を基本とします。

※ハイブリッド授業

① 面接・遠隔ハイブリッド授業

- ・ 15回（30時間）を基本とする授業において、教室等で「面接（対面）授業」を行う回と、インターネットによる「遠隔（オンライン）授業」を行う回とを設けて実施します。
- ・ 「遠隔（オンライン）授業」を実施する回は、次の②と同様の方法によります。

② オンライン・ハイブリッド授業

- ・ 15回（30時間）を基本とする授業をすべてインターネットによるオンラインで実施する授業で、原則、「リアルタイム（同期型）」と「オンデマンド（非同期型）」とを組み合わせ実施します。
- ・ リアルタイム、オンデマンドのいずれにおいても、通話やチャット等を通じて、質疑応答や履修者間の意見交換が可能な「双方向性」を確実に確保します。

※ 前期・後半以降の授業については、対面中心の見込みですが、5月中旬までに改めて決定します。

（2）ハイブリット授業の基本方針

- ・ 授業方法（出席確認方法、試験・成績評価方法を含む。）は、事前にコースカタログ・シラバス（4月1日公開予定）に明記するとともに、適宜、ポータル等を通じて十分な周知を図ります。
- ・ 基礎疾患等により登校できない（希望しない）学生に対して、授業のライブ配信や録画配信等により、学修の機会を確実に提供します。
- ・ 複数のクラスを設定する科目は、クラスによって「オンライン中心」、「対面中心」といった偏りが生じないように調整します。
- ・ 各キャンパスで提供する科目は、オムニバス形式の場合を含め、キャンパスによって同じ内容の授業形態・方法に差が生じないように調整します。
- ・ 物理的な理由により学内でオンライン授業を受講することができない場合には、代替措置を講じます。
- ・ 特に、新1年次生及び新2年次生については、学科共通科目で対面授業を設定するなど、可能な限りキャンパス内での学修機会の確保に努めます。
- ・ オンライン授業の基本ツールは、県大ポータル及びMicrosoft365とします。
- ・ 学内で罹患者が出た場合や近郊で感染拡大があった場合等には、急遽オンライン授業に切り替えることがあります。状況によっては、安否確認を行う場合がありますので、いつでも大学からの連絡に応答できるようにしておいてください。

2 前期授業・行事の日程等

区 分	対 象	日 程
入学式	新入生対象（対面で実施）	4月5日（月）
オリエンテーション	全学年対象 （1,2年生は対面で実施） （3,4年生は原則オンライン で実施）	4月6日（火）・4月7日（水）[2日間]
現課程（クォーター制）	第1クォーター	4月8日（木）～6月9日（水）[8週間]
	第2クォーター	6月10日（木）～8月6日（金）[8週間]
旧課程（セメスター制）		4月8日（木）～8月6日（金）[16週間]
オリエンテーションセミナー	1・2年生対象 （対面で実施）	4月29日（木・祝）・4月30日（金） [1日又は2日]

※ 入学式等の行事の詳細については別途お知らせします。

3 対面授業における感染症対策

- 健康管理アプリ等による健康観察等を徹底
- 学生、教員ともにマスクの着用を徹底
- 出入口にサーマルカメラを設置（発熱症状のある者は入構不可）
- ソーシャルディスタンスを確保するため、教室の定員数を半数以下に設定
- 各所に消毒液を配置し、手洗い・アルコール消毒を徹底
- 講義室内にアクリル板を設置（飛沫感染防止対策）
- サーキュレーターを設置するなどし、教室の換気を徹底
- フェイスシールドを各学年に配付

【メッセージ】

令和3年度前期の授業等について

R3.3.9

県立広島大学では、平成26年度に国の「大学教育再生加速プログラム」のテーマ1（アクティブ・ラーニング）に採択されて以来、「行動型学修」「参加型学修」「学生同士による学修支援」「研修体系の構築」などの様々な取組を進めてきました。

こうした先駆的な取組の途上において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、当初は緊急避難的な措置ではありましたが、コロナ禍においても学生の学修機会を何としてでも確保するという強い意志を持ってオンラインによる授業を導入したところです。

一部の学生や保護者の方から「オンライン授業の方が教員は楽なのではないか、授業料に見合わないのではないか」という御批判もありましたが、オンライン授業の準備に要する時間は対面授業の比ではなく、また、昨年12月以降の「第3波」を見るとおり、オンライン授業という手法がなければ学生の皆さんに学修機会を提供することすら叶わなかったものと考えています。

一方で、オンライン授業だけでは、教員と学生の間、学生間のコミュニケーションが十分に確保できないことも痛感しましたので、後期から、オンラインと対面を組み合わせた「ハイブリッド授業」を導入し、これらの間における双方向性の確保に向けて積極的に取り組んできたところです。

今後は、こうした経験を経て培ったオンライン授業のノウハウを、これまで本学が目指し、実際に一定のレベルまで達成することができた「アクティブ・ラーニング」の中に有機的に取り込み、対面とオンラインを融合し、つながりを重視した「新・県立広島大学型アクティブ・ラーニング」とでも言うべき「ハイブリッド型アクティブ・ラーニング（Hybrid Linkage Active Learning: HyLAL）」の確立・推進に向けて取り組んでまいります。

1 前期・前半（第1クォーター）

コロナ対策の特効薬として期待されているワクチンの接種が開始されましたが、年代別の接種スケジュールや、4月1日をも一つの区切りとする国民的慣習に伴う移動機会の増加による「第4波」発生の危険性などを考慮し、感染防止対策を徹底した上で、①対面とオンラインとのハイブリッド型、②リアルタイムとオンデマンドとのオンライン・ハイブリッド型の、2種類の「ハイブリッド授業」とします。

「ハイブリッド授業」に当たっては、講義室の定員という物理的なキャパシティの範囲内で、可能な限り「双方向性」を確保するとともに、対面による授業はもちろん、オンライン授業もキャンパス内で受講していただくなど、全学的な方針を全教員が共有して、「コミュニケーションができる場」の確保に努めます。

また、新入生の方から、御自身のパソコンを準備いただく「BYOD: Bring Your Own Device」とさせていただきますが、これは単にコロナ禍のためだけではなく、アフターコロナを見据えた「HyLAL」を目指したものであることに御理解いただくようお願いします。

新入生の方には、これまでパソコンを使ったことがなく、不安な方もおられると思いますが、最初の授業からパソコンを使ってオンライン授業を受講できるよう、学期当初のオリエンテーションで、パソコンやアプリケーション・ソフトの利用方法等について説明する予定にしていますので、御安心ください。

なお、ポケット wi-fi の貸与を今年度で終了することとしておりますが、アフターコロナを見据えつつ、全講義室にフリーwi-fiを整備していますので、オンライン授業となっている日も、是非、キャ

ンパスに来て、オンライン授業をキャンパス内で受講してみてください。

2 前期・後半（第2クォーター）

対面授業をメインに、反復学修や反転学修に有効な科目・授業についてはオンラインを有機的に組み合わせた授業形態とします（今後の情勢により変更の可能性あり）。

オンラインによる場合は、教育効果に応じて設計しますので、必ずしも類するすべての科目・授業とは限りませんが、概ね次のような科目・授業を想定しています。

- ・ 遠隔講義室接続による他キャンパス発信の科目
- ・ 全学で履修可能な副専攻プログラムの対象科目
- ・ 講義中心の科目
- ・ 集中講義
- ・ 新課程に読み替えを予定している科目
- ・ 再履修のための開講科目
- ・ その他オンラインによる方が効果が高いと判断する科目

3 オリエンテーション等

前期の授業が始まる前に、2日間、学科・コースの説明や授業の履修方法、資格の取得方法、学生生活や留学に関するガイダンス等の「キャンパスライフ」に関する説明会（オリエンテーション）を行います。

来年度は、新入生の方はもちろん、これまで通学の機会が少なかった新2年次生の方も対象に、対面で実施する予定です（新3・4年次生も対象ですが、キャパシティの都合上、オンラインによる場合があります。）。

また、現段階ではコロナ禍の影響により課外活動に制約がある中ではありますが、できる限りサークル活動の紹介や同級生・先輩との繋がりも持てるよう企画を練っている最中です。

必ずしも楽しい話ばかりではないかもしれませんが、パソコンの使い方や通学定期・奨学金の申請方法等をはじめ、「キャンパスライフ」を送る上で大変重要な事項をお伝えする貴重な機会ですので、是非積極的に参加してください。

なお、一度に理解ができなかった場合や参加できなかった場合には、個別の説明も可能ですので、お気軽にチューターやキャンパス教学課にお問い合わせください。

4 新型コロナウイルス感染症感染防止対策

学生の皆さんにワクチンが行き届くまでの間は、日々の健康観察や行動履歴の記録、登校時のマスクの着用、入講時のサーマルカメラによる体温チェック、講義室内の席の指定など、様々な対策を講じて、感染防止の徹底に努めます。

これらの取組は、皆さんが感染しないことはもちろん、家族や友人等皆さんの大事の方に感染させないためのものであることに御理解と御協力をお願いします。

なお、4月以降の感染防止対策は改めてお知らせしますが、現在の取組と大きくは変わらない見込みですので、現在の取組の詳細につきましてはこちらのページで確認しておいてください。

県立広島大学 副学長（教育・学生支援担当）

県立広島大学 大学教育実践センター長